

個人投資家向けIRセミナー

2019年3月5日

 **ティックス**

JASDAQ

証券コード：1905



1. 「テノックス」って、どんな会社なの？
2. テノックスの「つよみ」って何？
3. テノックスの「今」って、どうなの？
4. テノックスの「これから」は？
5. テノックスの「ファン」に！

「テノックス」って、どんな会社なの？

私達は、住宅、商業施設、病院、倉庫・工場、鉄道、高速道路等あらゆる建物や構造物を支える基礎工事の専門家集団です。

社名（テノックス）の由来

創業者の安田善次郎が、1970年に安田を慕う10名の青年とともに会社を設立しました。この10名が雄牛の様に力強く邁進しようと、10名の「TEN」と雄牛の「OX」を結びつけ、「Tenox」（テン・オックス＝10頭の雄牛）を社名としました。



ロゴマークについて

雄牛のOXをヒントにロゴマークをデザインしました。

会社概要（プロフィール）



社名	株式会社テノックス Tenox Corporation
本社所在地	東京都港区芝五丁目25番11号 ヒューリック三田ビル 5F
設立	1970年7月8日 2020年7月に創立50周年を迎えます。
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 佐藤 雅之
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売およびその杭打工事の請負・地盤改良工事の請負
従業員数	連結 264名（2018年3月31日現在）
拠点・グループ会社	国内拠点：11ヶ所、グループ会社：国内2社・海外1社
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード（証券コード：1905）

経営理念

人間尊重・技術志向・積極一貫

事業目的

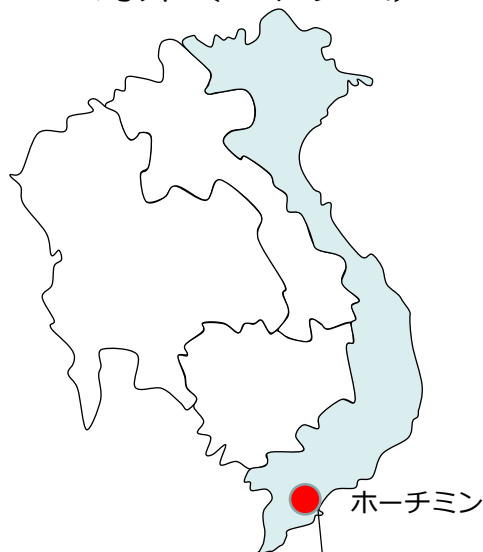
建築・土木構造物をお使いになる全ての
人々に「安全」と「安心」をお届けする
こと

経営方針

全てのステークホルダーの期待に沿うた
め、継続して「テノックスブランド」を
向上させること

事業拠点

海外（ベトナム）



ホーチミン

TENOX ASIA
COMPANY LIMITED

（出資比率 100%）

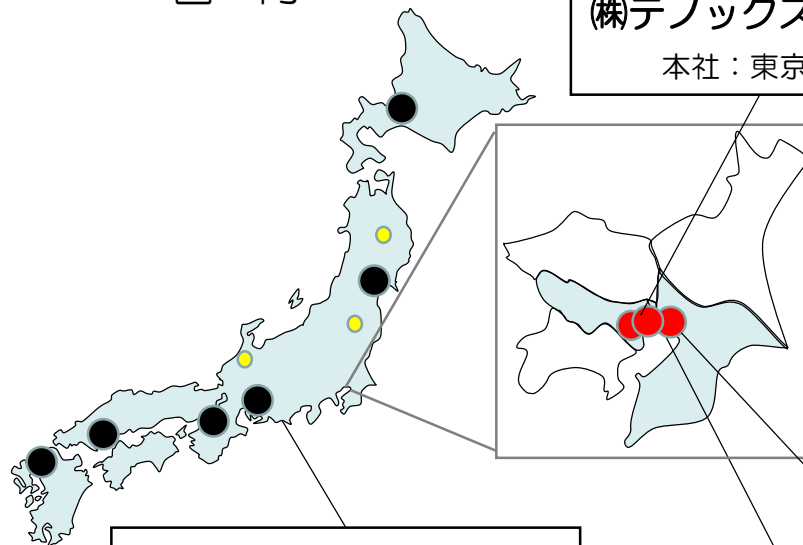
（所在地）

ベトナム社会主義共和国
ホーチミン市

（事業内容）

ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

国内



（株）テノックス

本社：東京都港区



（株）テノックス技研

（株式所有割合 100%）

（所在地）

千葉県船橋市

（事業内容）

（株）テノックスに対する
機材の賃貸を含む施工
協力

（株）テノックス 各拠点

（営業所）

北海道：北海道札幌市
東北：宮城県仙台市
名古屋：愛知県名古屋市
大阪：大阪府大阪市
中四国：広島県広島市
九州：福岡県福岡市

（出張所）

北東北：岩手県盛岡市
郡山：福島県郡山市
北陸：石川県金沢市

（東京機材センター、試験室）

千葉県船橋市

（株）複合技術研究所

（株式所有割合 55%）

（所在地）

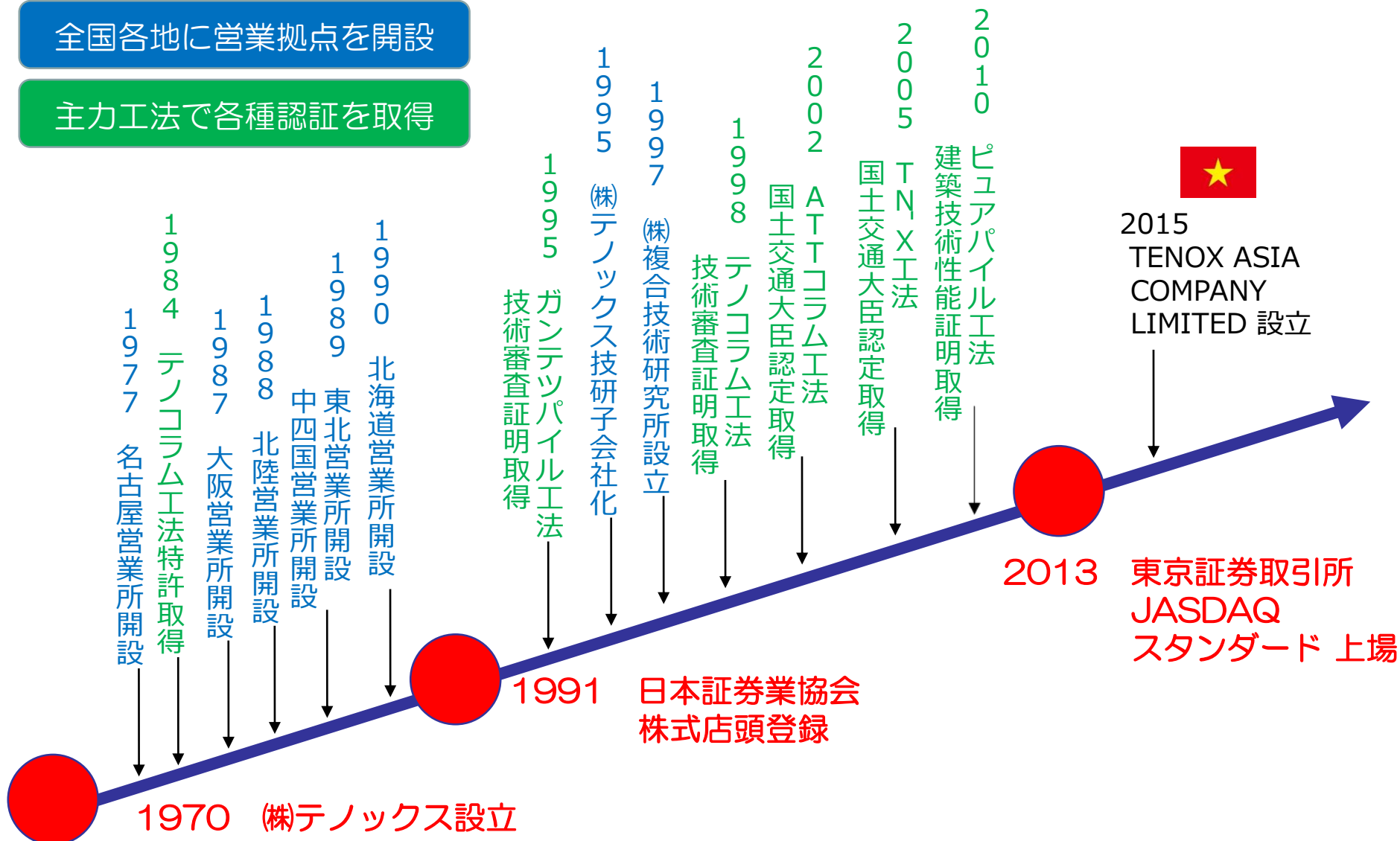
東京都新宿区

（事業内容）

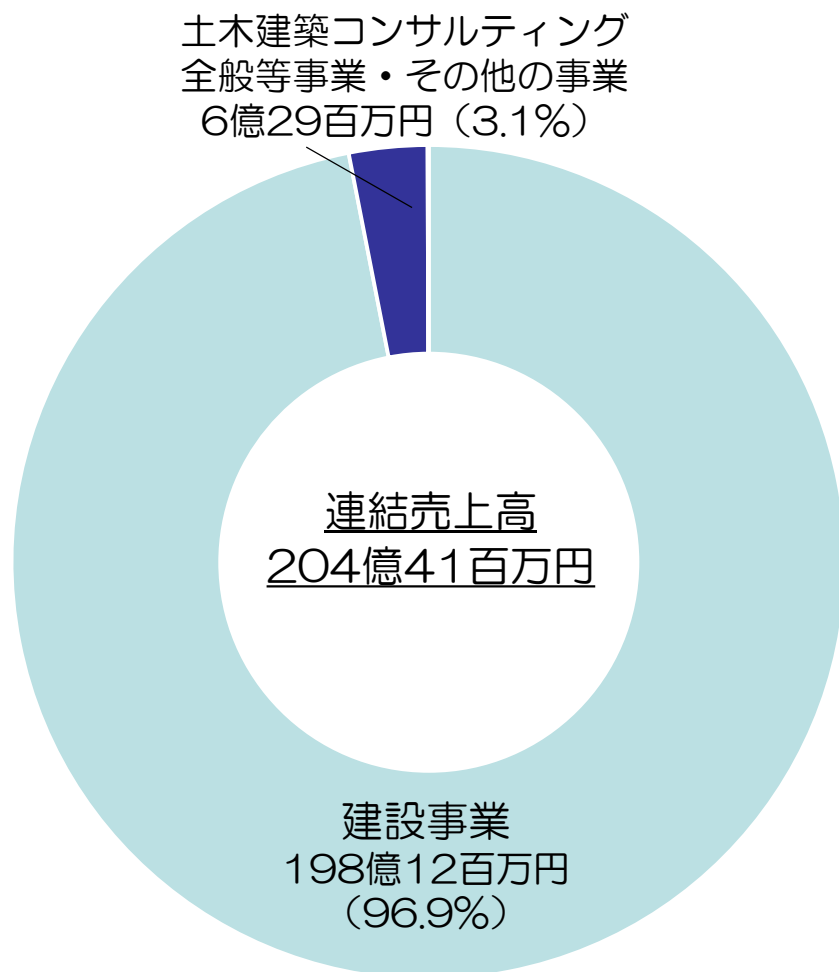
土木建築コンサルティング全
般等に関する事業

全国各地に営業拠点を開設

主力工法で各種認証を取得



2018年3月期セグメント別売上高



建設事業

国内では、当社及び(株)テノックス技研が基礎工事に特化した建設事業を行っています。

海外では、TENOX ASIA COMPANY LIMITED (非連結) が事業を行っております。

土木建築コンサルティング全般等事業

(株)複合技術研究所が土木建築コンサルティング全般等に関する事業を行っております。

その他の事業

不動産賃貸事業等を行っております。

基礎工事に特化した建設事業を営んでおります。
また、環境負荷の低減に積極的に取り組んでおります。

杭工法



有資格者：基礎施工士 42名
一級土木施工管理技士 52名
二級土木施工管理技士 45名

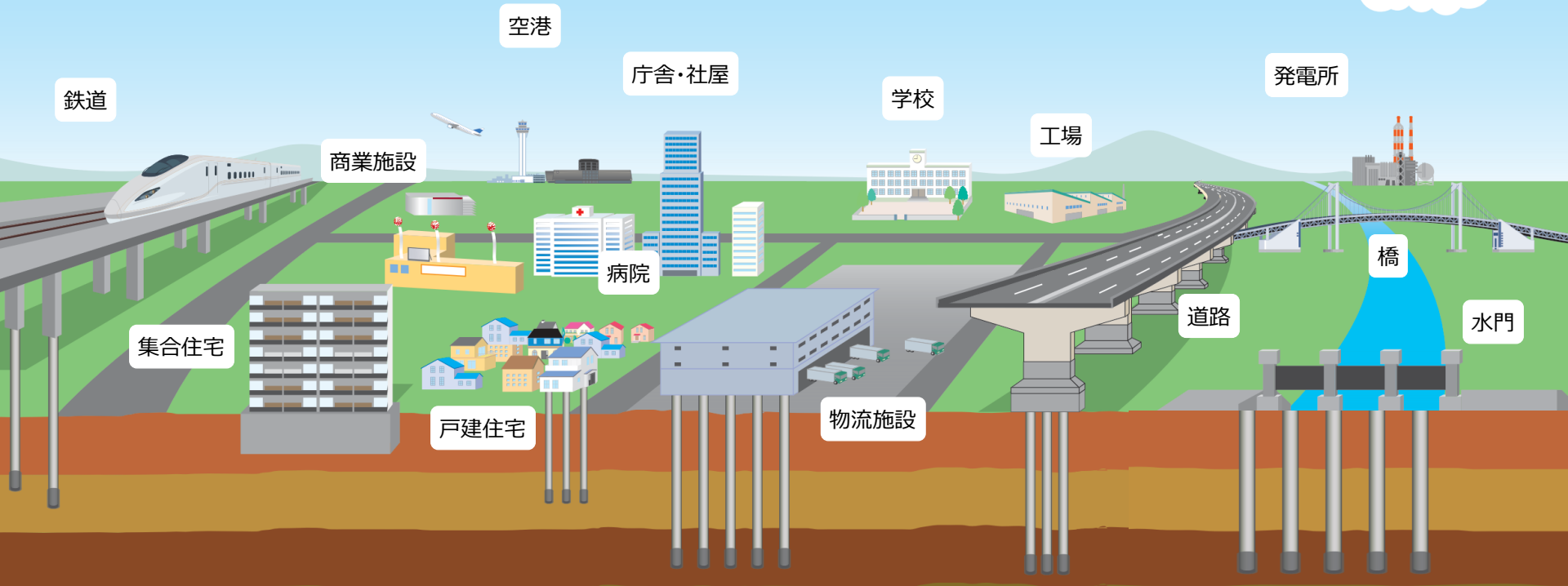
地盤改良工法



特許保有件数：64件

他多数

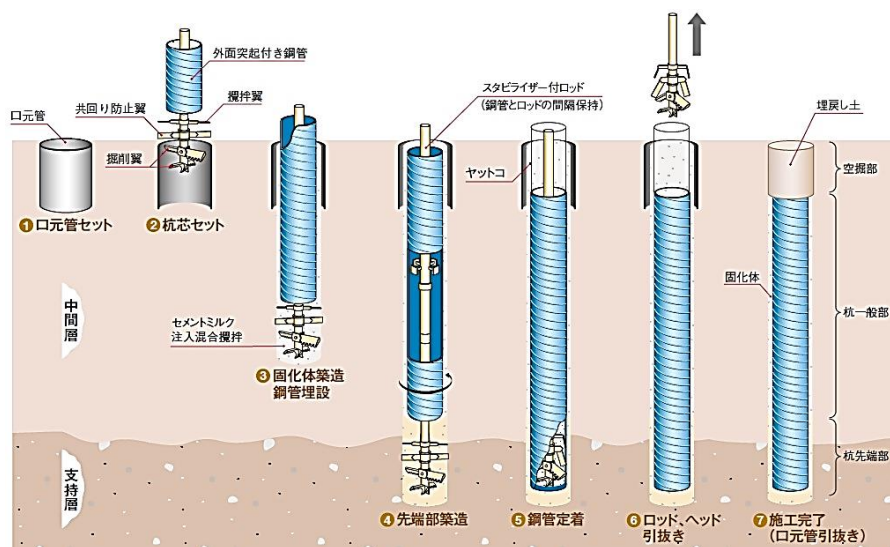
住宅、商業施設、病院、倉庫・工場、鉄道、道路等、私達の身の回りにはあふれる様々な構造物を利用するすべての方々に「安全」と「安心」をお届けしています。



杭工法 ・ 地盤改良工法

主な工法・技術の特徴（杭工法 ①）

ガンテツパイル工法 （鋼管ソイルセメント杭工法）



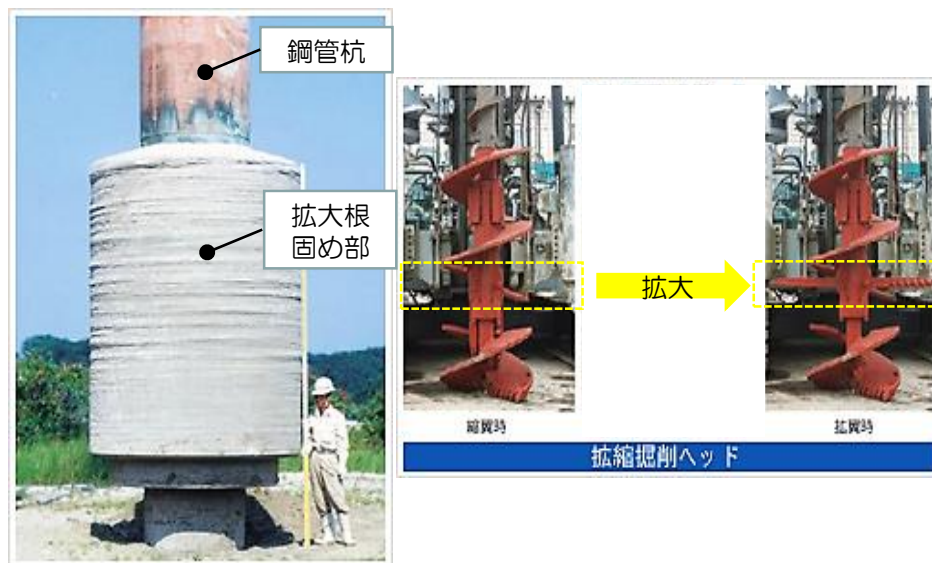
ガンテツパイルTYPE1(同時埋設方式)

ソイルセメント柱と外面突起付き鋼管から構成されるハイブリッド高支持力杭です。

道路橋、鉄道橋、上下水設備など、土木分野で幅広くご採用いただいております。

※ソイルセメント柱とは、地盤にセメント、水、混和材を練り混ぜたセメントミルク液を注入攪拌混合して造成される固化体の柱のことです。

TN-X工法 （先端拡大根固め鋼管杭工法）



大径鋼管杭の先端に大きな球根を築造する建築向け鋼管杭工法です。

物流倉庫などの大型建築物を、少ない杭本数で支えることが出来る高支持力杭です。

主な工法・技術の特徴（杭工法 ②）

NSエコパイル工法 （回転鋼管圧入杭）



鋼管の先端に螺旋状の羽根を溶接付けした鋼管杭です。鋼管を回転して地中に圧入する完全無排土工法です。無排土のため汚染土壌などの条件で適用性が高く、杭や施工機械も大型から小型までバリエーションに富み、様々な条件下での施工が可能です。

ATTコラム工法



ソイルセメント柱に羽根付き鋼管杭を埋設したハイブリッド工法です。ソイルセメント柱の外周面で大きな摩擦力を評価できるため、軟弱地盤においてその特性を最大限に発揮できます。

主な工法・技術の特徴（地盤改良工法）

テノコラム工法 （ソイルセメント工法）



高濃度のセメント系固化材液を地盤に注入攪拌し、高品質の円柱体（ソイルセメント柱）を築造する工法です。地盤改良工法が日本において、建築物の基礎工法としての使用を認知されるさきがけとなりました。建築・土木分野に幅広くご採用いただいております。

ピュアパイル工法 （戸建て住宅用杭状地盤補強工法）



戸建て住宅向け杭状地盤補強工法です。土質を選ばず排出土が少なく、また施工スピードも速くコストパフォーマンスに富んだ次世代工法です。

ピュアパイル工法HP <http://www.purepile.jp/>

さまざまな社会基盤整備事業における、地盤の強化・補強に関する分野のシンクタンクとして、設計・解析・実験業務等を行っております。

(株)複合技術研究所

構造計画・構造設計

解析・ソフトウェア

実験計測

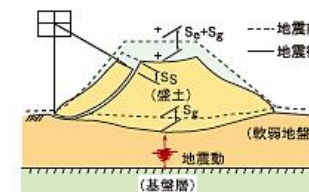
新技術の研究・開発

主な有資格者

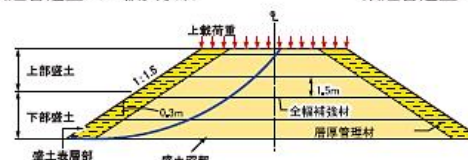
工学博士 3名、技術士（総合技術監理部門）2名、
技術士（土質及び基礎）3名、技術士（鉄道）1名、
技術士補 4名、一級土木施工管理技士 6名



鉄道普通盛土の被災状況



鉄道普通盛土崩壊のイメージ



補強盛土構造物の設計計算例



施工中



完成



施工中



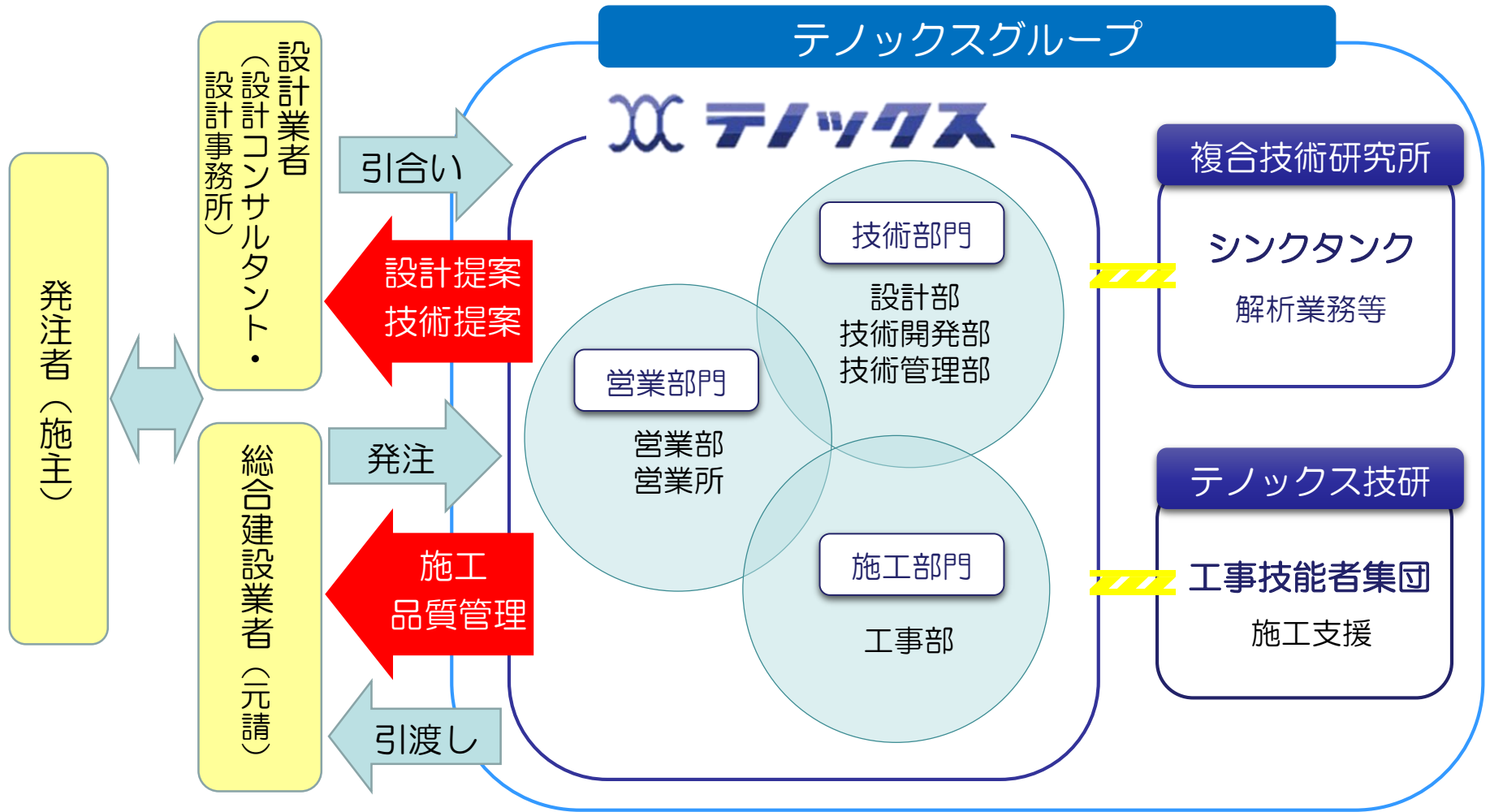
完成

斜面補強の適用例

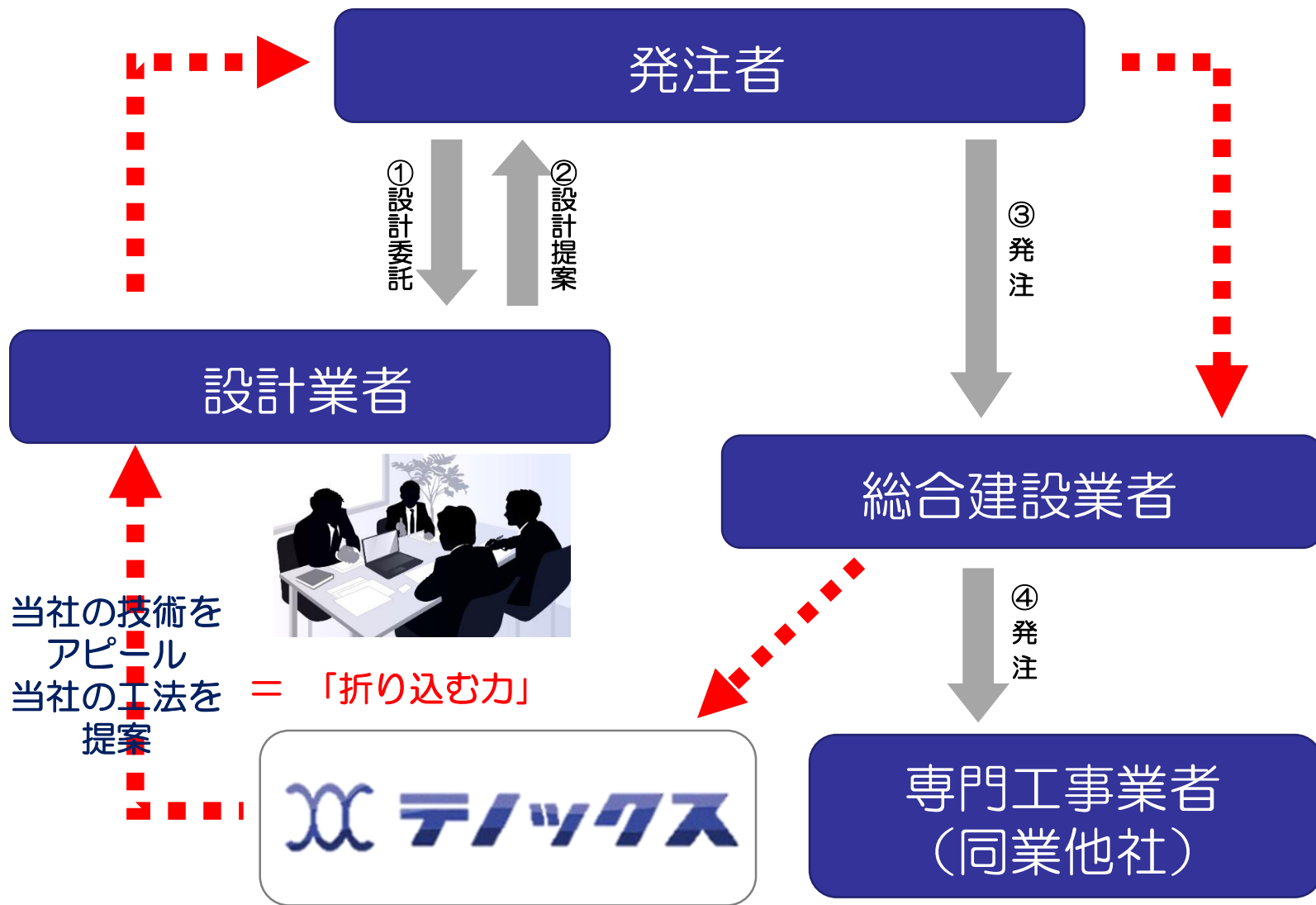
テノックスの「つよみ」って何？

ビジネスモデルと特徴

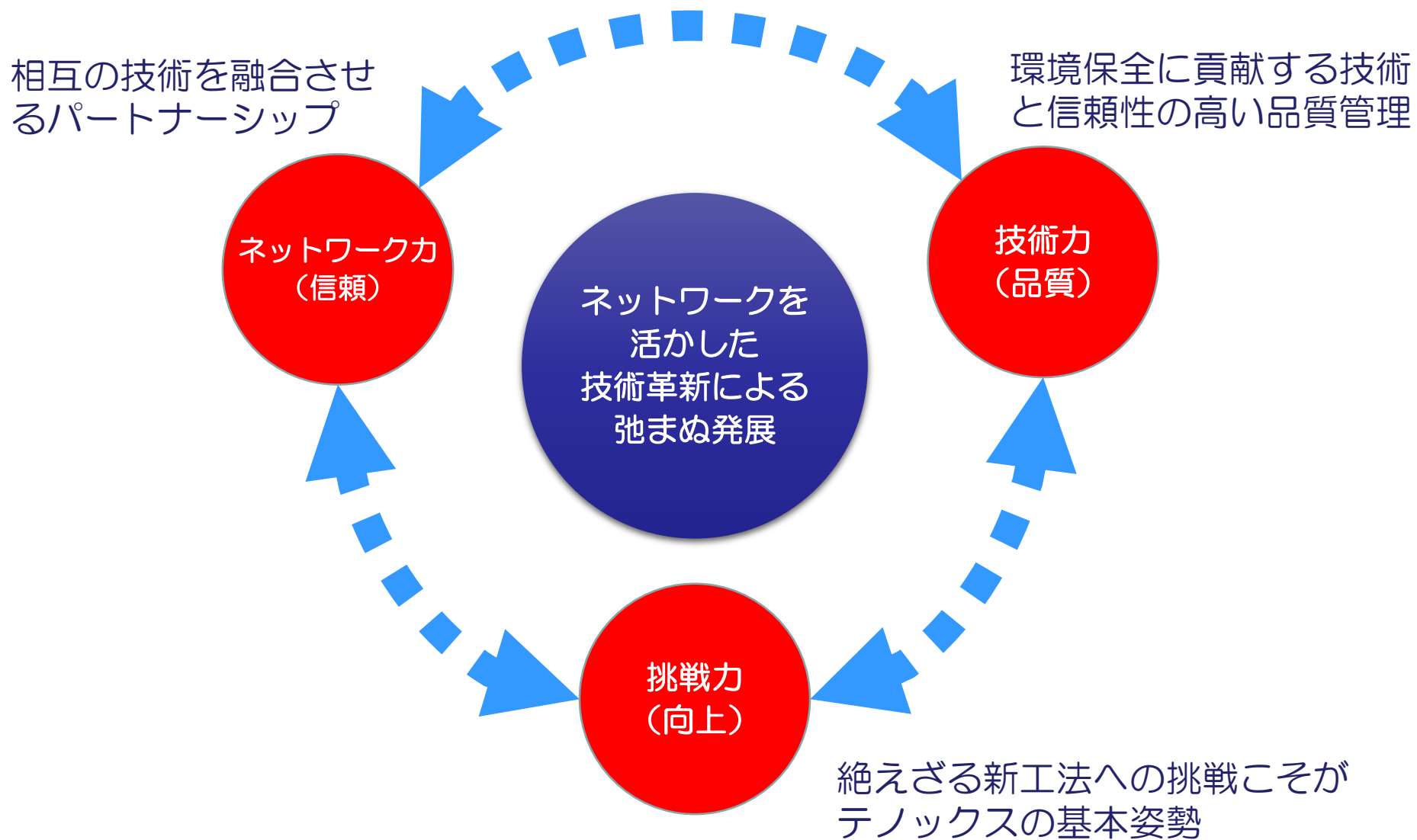
設計から施工まで一貫した体制で高い品質を実現



つよみ① 「折り込む力」



つよみ② ネットワーク力・技術力・挑戦力



テノックスの「今」って、どうなの？

2019年3月期 第3四半期実績と業績予想（連結）



（単位：百万円、％）

	2018/3 実績	2019/3 予想			2019/3 3Q 実績		
	金額	金額	前年差	前年比	金額	同期差	進捗率
売上高	20,441	20,000	△441	△2.2%	16,626	+570	83.1%
営業利益	749	900	+150	+20.1%	605	△18	67.3%
経常利益	785	950	+164	+20.9%	639	△14	67.3%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	523	700	+176	+33.6%	429	△30	61.3%

E P S（1株当たり利益）	75円24銭	100円40銭	+25円16銭	61円70銭	-
----------------	--------	---------	---------	--------	---

受注高	20,194	-	-	15,381	-
受注残高	6,735	-	-	5,686	-

純資産 （自己資本比率）	11,393 (61.7%)	11,800 (62.3%)	-	11,524 (61.6%)	-
総資産	17,992	18,500	-	18,250	-

2019/3期 業績予想

- ▶売上高 建築の大型杭工事が減少するものの、鉄道等の土木の杭工事が増加
- ▶利益 売上高はほぼ前年並みであるものの、売上総利益率の上昇で利益増
- ▶自己資本比率 60%超えの高水準を維持

テノックスの「これから」は？

中期経営計画 (2018~2020年度)

To The Next Future 2018 - 2020
テノックスブランドの向上と新たなステージに向けて

中期経営計画（経営環境と取り組み）

経営環境

中期

足元は堅調に推移しているが、東京オリンピック・パラリンピック後の受注環境の変化や、米中貿易摩擦の影響等が懸念される。

長期

鉄道関連や大阪万博等大型プロジェクトが見込まれるが、社会構造の変化から建設需要の減少が想定され、基礎業界における競争と淘汰が進むと予想される。

当社が持続的な成長を果たし、企業価値を高めていくためには、顧客からの高い信頼を得るとともに、市場のニーズの変化に逸早く対応する必要があります。

基盤事業への取り組み

「新技術」や「新サービスの創出」が必要

成長事業への取り組み

「新市場への進出」や「海外事業の拡大」が必要

中期経営計画5つの定性目標（5つの課題）

テノックスブランドの向上と新たなステージへ

課題① 市場、顧客に求められる品質面での信頼性を確保

課題② 新技術や新サービスの創出による新たなイノベーション

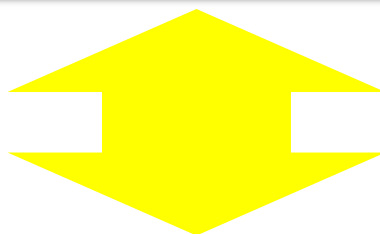
課題③ 生産性の向上

課題④ 受注力の強化

課題⑤ 将来の中核セグメントとしての海外事業の橋頭堡づくり

50年の実績と信頼

将来の成長に繋げる戦略的な投資を実行

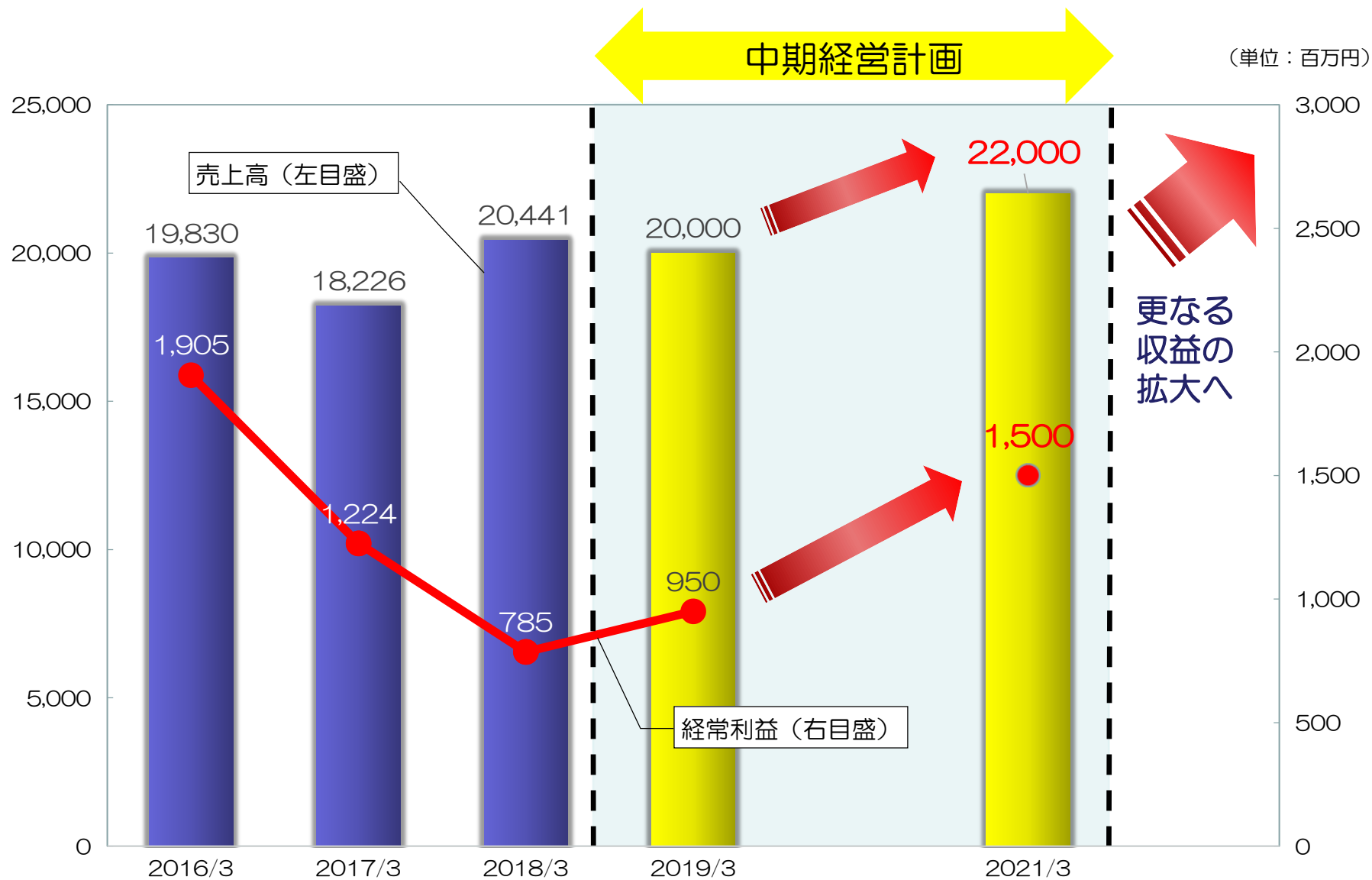


（投資資金）

- 手元資金
- 自己株式の活用
- 必要に応じて社債の発行や借入等

3年間で30億円の投資枠を設定

中期経営計画（連結業績目標）



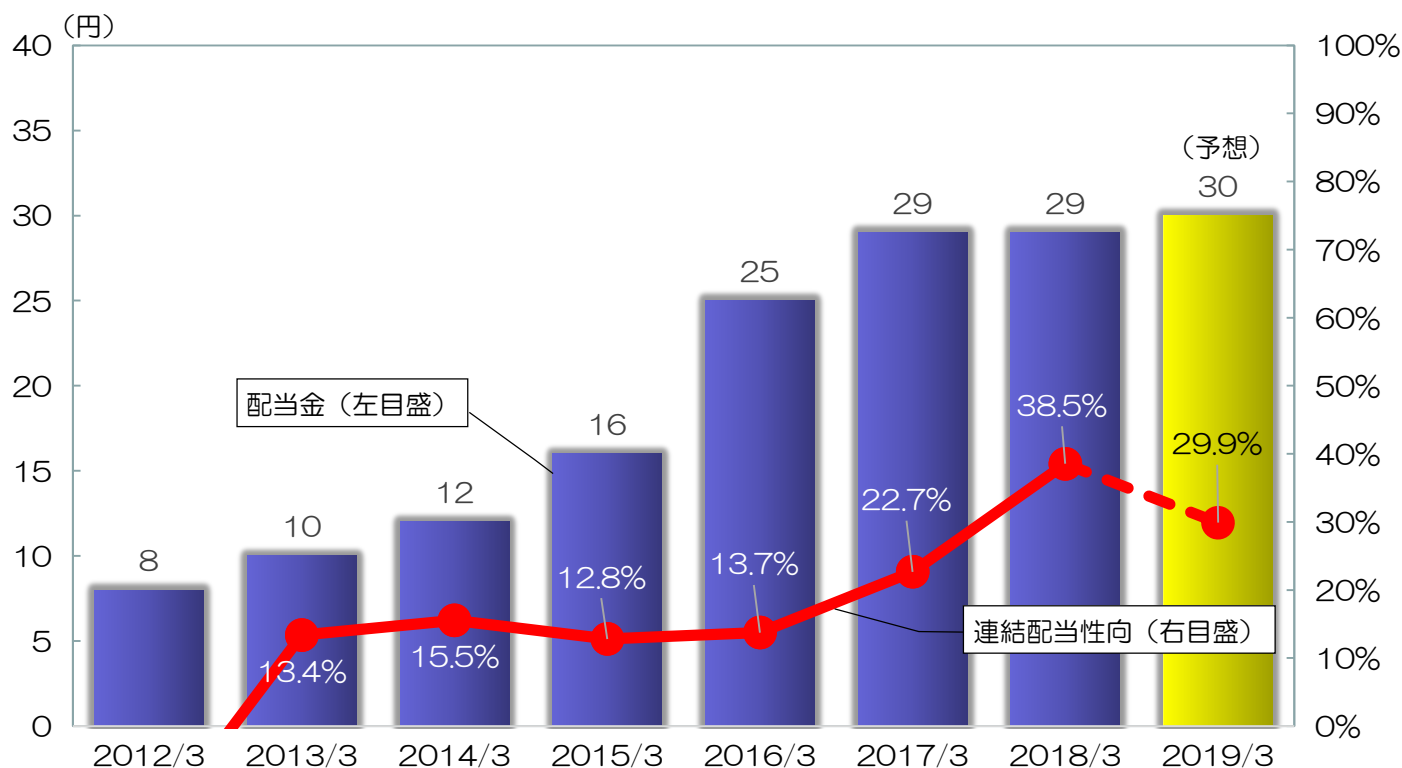
テノックスの「ファン」に！

株主還元政策（基本姿勢）

配当方針

当該期の業績や財政状態に加え、中期的な見通しも勘案したうえで、基本的には連結配当性向30%程度を目安に安定的な配当を実施

配当金と
連結配当性向



ま と め

- 全国展開している基礎工事のプロ集団
- 顧客ニーズに的確に対応する設計提案力
- 独自の技術と工法と磨き上げた施工力
- 信頼性の高い品質管理の更なる追及
- 50年にわたる実績に基づく将来への期待
- 株主との対話を通じた株主還元政策

IRに関するお問合せ

- IR担当部署 企画情報推進部 予算・IRグループ
- 電話番号 03-3455-7787
- URL : <https://www.tenox.co.jp/contact/ir.html>
- ホームページ : <http://www.tenox.co.jp/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。